

令和5年度業務実績評価における改善事項等の対応状況について（5.28 案）

1 全体評価（組織、業務運営等に係る改善事項等への記載事項）

- ① 大学院については、学生確保のための努力は認められるものの、志願者の増につながっていない状況にあり、大学が持つ教育研究資源の有効活用・地域への還元の視点からも志願者の掘り起こしが望まれる。
- ② 大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取組について、令和元年度から該当なしとなっているが、この取組については、大学のステータス向上にもつながり、結果として受験者数の増加、外部資金の流入等にも寄与すると思われることから、今後の取組に期待する。

2 全体評価への対応状況

	令和5年度 改善事項等	大学院については、学生確保のための努力は認められるものの、志願者の増につながっていない状況にあり、大学が持つ教育研究資源の有効活用・地域への還元の視点からも志願者の掘り起こしが望まれる。
①	業務運営等 への反映 状況	令和6年度年度計画では、博士課程（前期・後期）の学生確保の強化のため、 ○学部教育との連携を図るために、キャリアセンターにおいて、大学院進学希望者の情報を把握し、学内推薦選抜説明会への参加を促すなどの情報提供を行う。また、大学院進学促進ポスターを学内に掲示するとともに、オリエンテーションを通じて成績優秀者に対して大学院進学の情報提供を行うなどの学内広報を充実させる。 ○社会人入学生を確保するための取組として、改善した広報手段を継続して実施するとともに、行政機関や民間企業への訪問をすすめる。 などの取組を掲げており、実績は以下のとおりとなった。 ＜取組状況の実績＞ ・県内自治体や企業等 141 社へパンフレット送付、バス停へのポスター掲出・新聞広告、通勤時間帯に選抜説明会のラジオ CM を実施、第Ⅱ期募集における WEB 広告の配信。 ・大学院入学者募集（第Ⅰ期募集・第Ⅱ期募集）選抜説明会 4 回開催／参加者 10 名 ・大学院生募集に係る広報活動：企業・団体訪問数 23 件（研究科長） 24 件（理事長） ・選抜結果（第Ⅰ期募集・第Ⅱ期募集） 博士前期課程・・・志望者 3 名／合格者 3 名（＝入学手続完了者） 博士後期課程・・・志願者 0 名

②	令和５年度 改善事項等	大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取組について、令和元年度から該当なしとなっているが、この取組については、大学のステータス向上にもつながり、結果として受験者数の増加、外部資金の流入等にも寄与すると思われることから、今後の取組に期待する。
	業務運営等 への反映 状況	令和６年度の年度計画では、研究水準及び研究成果に関する目標を達成するため、 ○大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する ○教員の研究成果を社会還元するため、青森ケーブルテレビでの公開講座の放映やホームページでの学術リポジトリ、論纂の公開など、積極的な情報発信を行う。 などの取組を掲げており、顕彰はその一環として行っているが、長らく実績が無かったことから、基準の再検討を行うこととし、見直しを行った結果、実績は以下のとおりとなった。 ＜取組状況の実績＞ ・顕彰該当者：１０名（研究費の支援額合計３８万円） ・研究成果の本学ホームページでの情報発信（１９件）

～地方独立行政法人法（抜粋・一部加筆）～

（評価の結果の取扱い等）

第二十九条 地方独立行政法人は、前条第一項の評価（＝業務実績評価）の結果を、中期計画及び年度計画並びに業務運営の改善に適切に反映させるとともに、毎年度、当該評価の結果の反映状況を公表しなければならない。